

2022年4月20日

矢崎総業株式会社

令和4年度「知財功労賞 特許庁長官表彰」を初受賞

矢崎総業株式会社(本社:東京都港区、社長:矢崎 信二)は、経済産業省 特許庁が表彰する令和4年度「知財功労賞」において、特許庁長官表彰を初受賞いたしました。

【知財功労賞の概要】

知的財産権制度の発展及び普及・啓発に貢献のあった個人に対して「知的財産権制度関係功労者表彰」、また、制度を有効に活用し円滑な運営・発展に貢献のあった企業等に対して「知的財産権制度活用優良企業等表彰」として、経済産業大臣表彰および特許庁長官表彰があります。

詳細は経済産業省および特許庁のプレスリリースをご覧ください。

・経済産業省 <https://www.meti.go.jp/press/2022/04/20220411002/20220411002.html>

・特許庁 https://www.jpo.go.jp/news/koho/tizai_koro/2022_tizai_kourou.html

【受賞のポイント】

- 経営戦略において「知的財産権を経営資源として活用し、事業活動へ貢献する」との方針を明確に掲げ、グローバル本社機能を有する先行技術開発室の中に知財部門を置き、開発戦略会議や海外開発拠点とのグローバル知的財産会議等を通じた知財戦略のグローバルな浸透、実行を推進する強固な体制を確立している。
- IP ランドスケープの手法を活用して研究・開発・生産のロードマップ作成に参画し戦略策定・実行を支援するなど、事業・開発の初期段階から知財部門が深く関与、貢献している。
- 途上国・地域を含む45の国と地域に140法人（2021年6月21日現在）を有する同社は、進出先国の法律、出願・権利状況等を一元的に把握・管理し、各国・地域の状況に応じたきめ細かな知財の管理・活用、知財人材の育成を行うと共に、進出先全世界での統一商標の確立、中国全土における日本のBtoB企業としては初めての『馳名商標』の認定など知財を活用した積極的なブランド向上の取り組みを実施している。

専務取締役 神田 政博のコメント

この度は、知財功労賞「特許庁長官表彰」を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。弊社は、1941年に創業し、社である「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」を経営理念として参りました。

今回の受賞を励みに、事業活動に寄りそった知財活動をより一層推進するとともに、モノづくりを通じて地域と共に発展し、社会への貢献を実現して参ります。



4月18日知財功労賞表彰式の様子
 (中央左) 特許庁長官 森清氏
 (中央右) 当社 専務取締役 神田政博

以上